



令和7年度

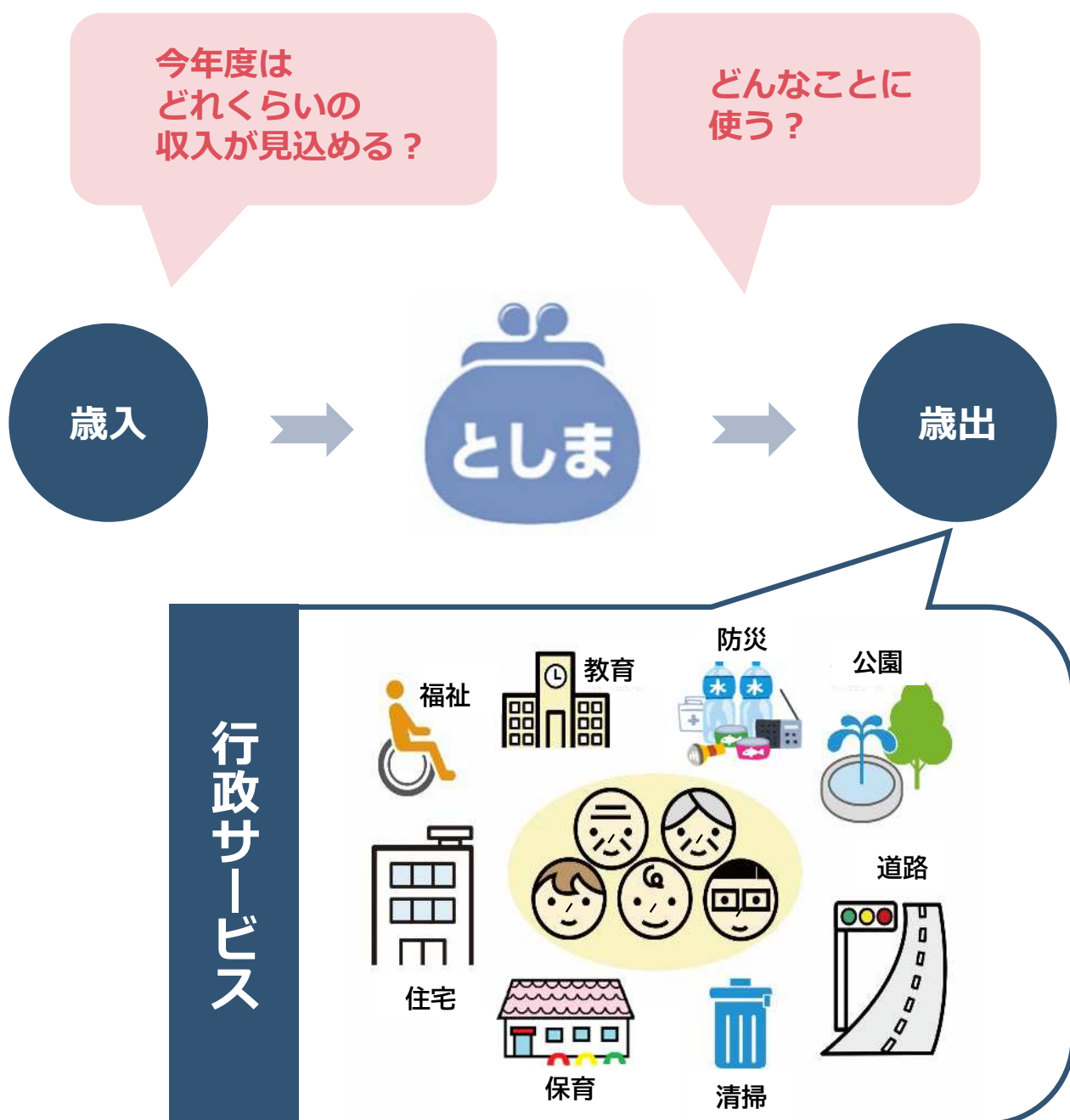
当初予算
ミニブック



豊島区
TOSHIMA CITY

予算って何？

予算とは、1年間の収入と支出の見込みのことを指し、収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」と呼びます。
区は、予算の執行を通して、福祉や教育、まちづくりなど様々な行政サービスを提供します。
つまり、予算は1年間の行政サービスの計画ともいえます。



豊島区の予算はどれくらい？

地方公共団体の会計は、基本的な行政サービスを行うための「一般会計」と、特定の事業を行うための「特別会計」があります。

豊島区には3つの特別会計があり、すべての会計を合わせた令和7年度の予算は2,309億円となっています。

会計	予算額
一般会計	1,706億円
国民健康保険事業会計	309億円
後期高齢者医療事業会計	76億円
介護保険事業会計	219億円

全会計の合計
2,309億円



区民一人あたり
78万4,000円

※令和7年1月1日の人口で計算



区民一人あたりの
金額に置き換える
と、イメージが
わきますね。

令和7年度予算の全体像

豊島区の歳入は、「特別区民税」と「特別区財政調整交付金」が多くを占めています。

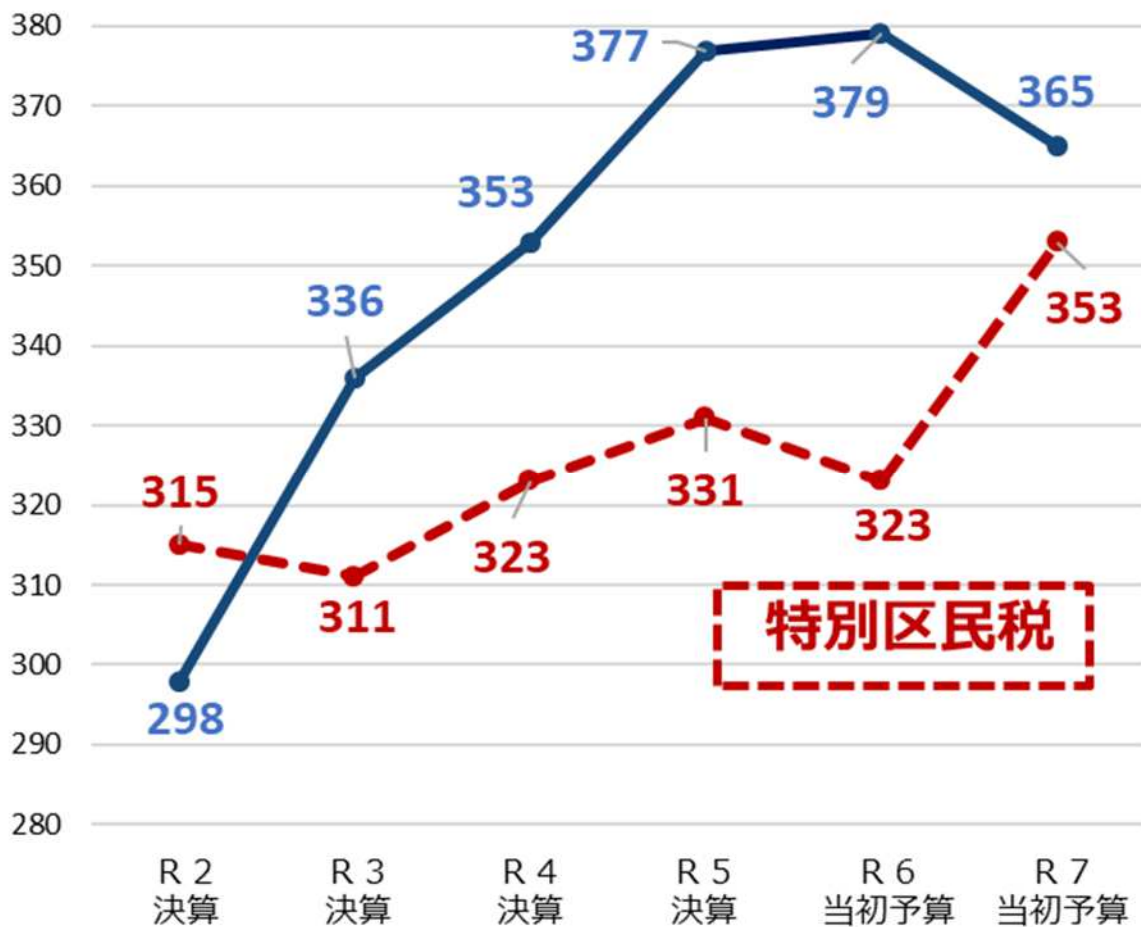
ともに近年は増加傾向にありますが、景気などの状況によっては落ち込む場合もあります。

どちらも、みなさんが納めた税金が原資になっているので、区民のために大事に活用しています。

※特別区財政調整交付金…東京都と特別区の役割分担や各区の規模などに応じて、都区間・特別区間で配分されるお金

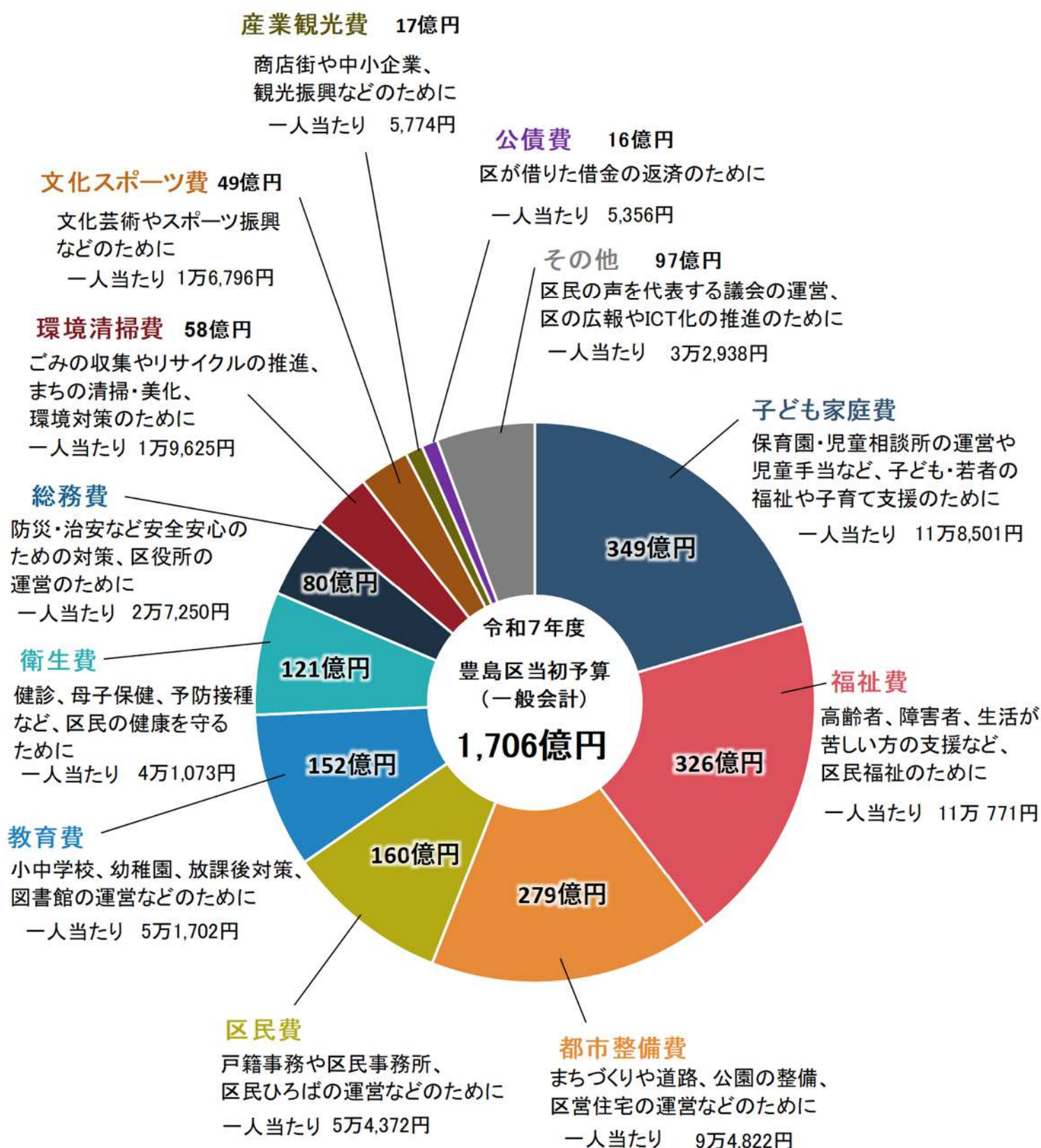
特別区財政調整交付金

(単位：億円)



歳出を目的別に表すと下のグラフのようになり、割合としては「子ども家庭費」が最も多くを占めています。

区民や区内で活動する方々を多方面から支援するために、貴重な財源を活用しています。



予算をつくるとき、どんな工夫をしているの？

行政評価・事業見直し



「行政評価」

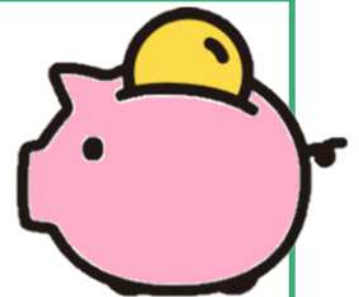
限られた財源を有効活用するために、行政サービスの点検を行い、課題の発見と改善を図っています。

「事業見直し」

区民ニーズが変化していく中で、さらに効率的で効果的な行政サービスを提供するため、令和7年度予算から全庁を挙げて「事業見直し」に取り組んでおり、

3億円の財源を生み出しました。

基金（貯金）や 区債（借金）の活用



区施設の建設・改築や道路・公園整備などのまちづくりを行うときには、基金（貯金）の取り崩しや、区債（借金）の活用などにより、財源を確保します。基金や区債の活用により、財源の年度間調整を行い、現在世代と将来世代との負担の公平化を図っています。



見直しの内容

①事業の再構築

20事業 1.3億円

②内部事務の効率性の視点による適正化

4事業 1.2億円

③事業内容の効果の視点による適正化

5事業 0.2億円

④事業の廃止・休止

4事業 0.7億円

合計約3億円の効果

202億円
貯金が多い

.....

貯金
500億円

借金
298億円

令和7年度末見込み

これからも、将来世代に過度の負担を残さないよう、慎重な財政運営を心掛けていきます。

令和7年度 予算

7つの柱

令和7年度予算は、新たな基本構想・基本計画の実現に向けてスタートを切る予算です。

ここでは、令和7年度に実施する主要な事業を、基本計画に掲げた7つの「まちづくりの方向性」で整理しています。

1 地域と共に支えあう安全・安心なまち

2 子育てしやすく、子ども・若者が
自分らしく成長できるまち

3 生涯にわたり健康で、
地域で共に暮らせる福祉のまち

4 豊かな心と活発な交流を育む
多彩な文化のまち

5 活気とにぎわいを生み出す
産業と観光のまち

6 共につくる地球にも人にもやさしいまち

7 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

1

地域と共に支えあう 安全・安心なまち

地域で安心して生活できるよう、地域コミュニティの活性化をはじめ、災害・治安や住環境等への対策を、ハード・ソフトの両面から講じ、地域と共に安全・安心なまちづくりを進めます。



女性の視点から見た防災プロジェクトチーム

✓ 主な実施事業

- 女性の声を活かし、救援センターの環境を改善
- 区有施設エレベーターに防災キャビネットを設置
- 防災士資格取得助成の拡充による救援センターの強化
- 家具転倒防止器具・ガラス飛散防止フィルム等の購入・設置を助成
- 地域の活発な交流を生み出す「新・区民ひろば」
- 多世代の近居・同居を支援し、ファミリー世帯の定住化を促進

子育てしやすく、子ども・若者が 自分らしく成長できるまち

切れ目ないぬくもりのある支援により、安心して子どもを産み育てられる環境を作るとともに、子ども・若者の権利が尊重され、希望を持って学び、自分らしく成長できる笑顔あふれるまちづくりを進めます。



帰宅時の見守り
「おかえりサポート」

チャレンジクラス（登校支援学級） 「スリジェ」の開設

対象	区内在住または区立中学校在学中で学校に通うことができない 新中学1～3年生 (国立・私立を含む)
支援内容	・学習状況に応じた指導 ・通常学級との交流 など
場所	西池袋中学校

✓ 主な実施事業

- 親も子も安心！朝と帰宅時の見守りを全区立小学校で開始
- 増加する不登校児童・生徒へ多方面から支援を強化
(全中学校へ支援員配置/スーパーバイザー新設/不登校対応巡回教員配置)
- 教育環境の整備 (電子黒板/指導者用デジタル教科書/プールの日除け対策等)
- 学校改築の推進 (千川中/朋有小・西巣鴨中連携校/駒込中及び駒込地域仮校舎)
- 産後支援の拡充 (産後ケア/産後ドゥーラ利用助成)
- 子ども・若者が安心して過ごせる居場所づくり

生涯にわたり健康で、 地域で共に暮らせる福祉のまち

誰もが心と体の健康が維持された生活を送り、自分らしく歳を重ねることができるとともに、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、本人が望む社会とのつながりや自立生活を支えるまちづくりを進めます。

新 保健所
令和8年5月開設予定



※イメージ

✓ 主な実施事業

- 池袋保健所の本移転（令和8年5月開設予定）
- 四師会（医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護師会）と連携した在宅医療・介護連携の推進
- 区民ひろば長崎複合施設で新たにフレイル対策事業を展開
- 様々なワクチン接種の費用助成
- 手話人口の裾野を広げる手話講習会の実施

豊かな心と活発な交流を育む 多彩な文化のまち

地域の歴史や文化を守り伝え、新たな文化を受け容れ続けるとともに、あらゆる人がより身近に文化を感じ、体験できる環境を整備しつつ、世界とつながるアート・カルチャーが交差するまちづくりを進めます。



としま文化の日の推進
「としまっ子フェス」



スポーツ施設の無料開放
(子どもの居場所・遊び場)



主な実施事業

- 音楽によるまちづくり（身近な場所での音楽パフォーマンス）
- 子どもから大人まで 文化芸術を楽しめる「としま文化の日」
- スポーツ施設の無料開放（子どもの居場所・遊び場）
- 子どもたちへの多彩なスポーツ体験を提供
- 生涯学習「知の拠点」としての図書館整備（上池袋図書館・千早図書館）

活気とにぎわいを生みだす 産業と観光のまち

世界を市場としたスタートアップを生みだすビジネスの成長と変革や、地域経済の持続的な発展を促進するとともに、マンガ・アニメ等の地域資源を生かし、国内外の来街者でにぎわうまちづくりを進めます。



大塚商人まつり



Tokyo Music Evening Yube

✓ 主な実施事業

- 商店街への補助
(商人まつり、商店街プレミアム付き地域商品券等への補助等)
- 空き店舗での開業を伴走支援
- 中小企業の販路開拓・拡大、デジタル化推進等、活動を支援
- 銭湯利用の促進 (季節湯の中高生入浴料割引補助等)
- シティプロモーションの推進 (区の魅力・活力の積極的な発信)
- 観光案内所と連携したイベント等の情報発信

共につくる 地球にも人にもやさしいまち

多様な主体が相互に協力しながら都市のみどりを育み、清潔で美しいまちを創出するとともに、脱炭素地域社会づくりを推進し、良好な環境を次世代へ引き継ぐまちづくりを進めます。



「豊島の森」環境講座



区内企業や団体等と連携した
一斉清掃活動「ごみゼロデー」

✓ 主な実施事業

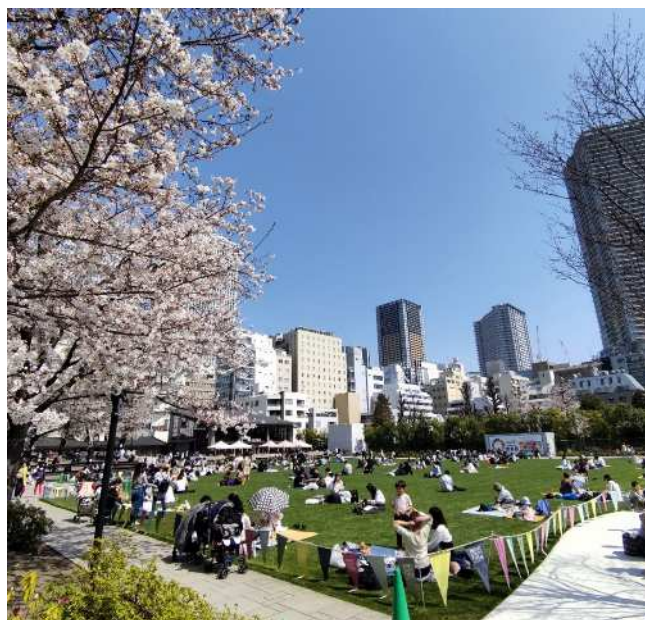
- 小・中学校等における再生可能エネルギー電力の導入
- エコ住宅・エコ事業者普及の促進（省エネ機器・設備等導入への助成）
- さまざまな体験型イベント等を通じた環境教育・啓発活動の推進
- 循環型社会構築に向けた3Rの推進
- 良好な生活環境の保全のための、官民連携による
「まちキレイプロジェクト」の展開と公衆喫煙所の整備

誰もが居心地の良い 歩きたくなるまち

次世代に誇れる魅力ある都市を創出するとともに、池袋駅を中心に各地域の魅力あるスポットを結び付け、区内全体を回遊性が高く、誰もが安全で歩きやすいまちづくりを進めます。



IKEBUKURO LIVING LOOP



南池袋公園

✔ 主な実施事業

- 池袋駅周辺地域におけるウォーカブルなまちづくりの推進
- 地域の特色を生かした魅力ある公園づくり
(モデル地区) 高松・要町・千川／高田／巣鴨・西巣鴨
- 道路交通環境の変化の視点を盛り込んだ
「第三次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」の策定

区民による事業提案制度

区民の皆さんが日頃感じている課題を区に提案し、区民の投票により実現する提案を選ぶ「区民による事業提案制度」。令和7年度は「防災・デジタル」をテーマに、5つの事業を予算化しました。

[提案件数]

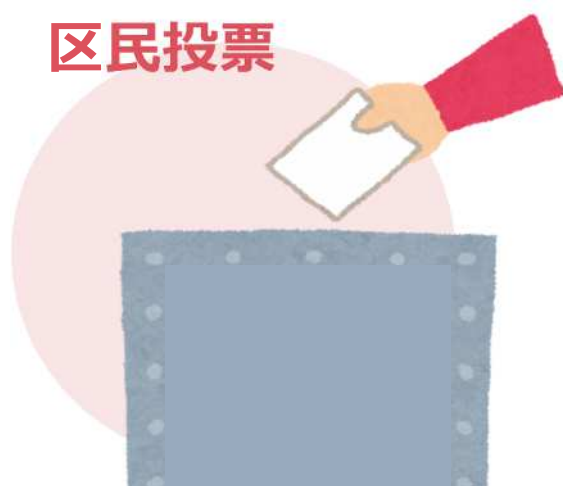
78件

[投票対象]

9件



区民投票



区民の思いをカタチに

**災害に強い
地域づくり**



- ◆デジタルサイネージを活用した災害時の情報発信
- ◆防災を楽しく学ぶ体験型イベント

**人にやさしい
デジタル化社会
の推進**



- ◆町会活動のデジタル化促進
- ◆保育園の連絡手段のオンライン化
- ◆LINEを活用したオンライン申請等プラットフォームの導入

公共施設の更新

区民の皆さんに身近な公共施設の更新を計画的に進めています。
※「豊島区公共施設更新計画」（令和7年3月策定予定）



上池袋図書館 令和8年6月オープン予定



千早地域文化創造館 令和9年春頃オープン予定

歳入・歳出予算

歳入

区分	7 年度	6 年度	増減
特別区税	388億円	358億円	30億円
地方消費税交付金	87億円	80億円	7億円
特別区交付金	365億円	379億円	△14億円
国・都支出金	523億円	432億円	90億円
繰入金	133億円	120億円	13億円
特別区債	87億円	44億円	43億円
その他歳入	124億円	116億円	7億円
合計	1,706億円	1,529億円	177億円

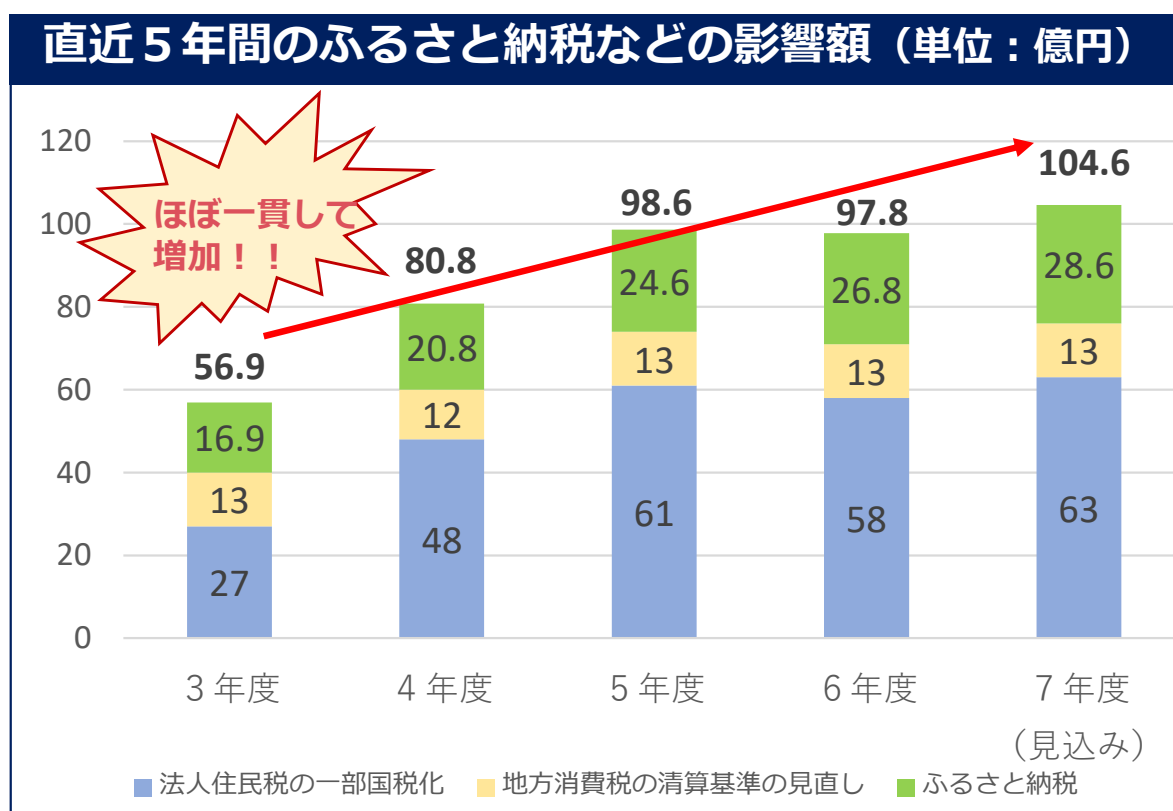
歳出

区分	7 年度	6年度	増減
人件費	280億円	266億円	14億円
公債費	16億円	19億円	△3億円
扶助費	454億円	438億円	16億円
投資的経費	375億円	248億円	127億円
一般行政経費	581億円	559億円	22億円
合計	1,706億円	1,529億円	177億円

ふるさと納税などの影響

ふるさと納税など、国による不合理な税制改正により、豊島区では7年度（見込み）は104.6億円、累計で649.5億円もの財源が失われています。

自治体のサービスはその自治体の税収入などで負担するべきものですが、このまま財源の流出が続くと、本来できたはずの施策ができなくなるなど、区民サービスの低下につながっていきます。



累計影響額を区の事業などに換算すると・・・

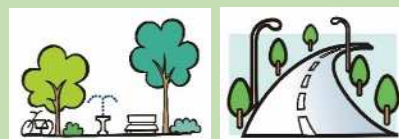
学校改築
9校分



ごみ収集・
運搬・処理
12年分



道路・公園の
維持管理
27年分



豊島区は、東京都や特別区長会と連携しながら、不合理な税制を是正するよう、国に求めています。



令和7年度 当初予算ミニブック

令和7年（2025年）3月

編集・発行 豊島区政策経営部

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

区の計画・予算に関する資料は
豊島区ホームページでも
閲覧できます。

右の二次元コードを読み取って
アクセスしてください。



当初予算ミニブック



基本構想・基本計画